



みずしま かずのり

## 水嶋 一憲 教授

京都大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学  
経済学修士(京都大学)

専門分野 **メディア文化研究、社会思想史**

### Q1 担当科目を 教えてください。

#### カルチュラル・スタディーズ

映画や音楽を始めとするポピュラー・カルチャーを積極的に取り上げながら、ポスト・インターネット時代の諸問題(コミュニケーション資本主義やプラットフォーム資本主義の作動様式、大量監視・ビッグデータ・アルゴリズム等々)を多角的に分析します。

#### 異文化コミュニケーション論

映画や音楽を始めとするポピュラー・カルチャーを積極的に取り上げながら、グローバル社会における文化とアイデンティティの諸相(人種・民族性・国民的帰属性・階級・ジェンダー・セクシュアリティ等々)を多角的に分析します。

#### 演習(ゼミナール): グローバル化とメディア

グローバル化とインターネット以降の経済と社会の変容を、映画・音楽・アニメ・ネット配信・SNS・動画共有サービスを含めた新しいメディア文化の動きも取り入れながら、みなさんと一緒に分析していきます。

### Q2 研究のテーマは 何ですか？

#### グローバル制御社会におけるメディア・技術・資本主義の新たな 連関に関する学祭的研究

近年におけるデジタルメディア環境の劇的な変貌を踏まえながら、グローバル制御(コントロール)社会におけるメディア・技術・資本主義の新たな連関を学際的視点から解明するための社会理論の基盤構築を目指しています。

#### わたしのおすすめ本

##### 〈帝国〉

著者 アントニオ・ネグリ+マイケル・ハート著、水嶋一憲ほか訳  
出版社 以文社

出版 2003年  
ISBN 4753102246

グローバル化の動きを画期的な視点から分析した書物で、さまざまな分野に大きな影響を与えたベストセラー本です。21世紀的現実について考える上で、必読の入門書。



### Q3 研究者って どんな仕事ですか？

絶えず変動している〈現在〉への関心を失うことなく、〈過去〉の出来事や作品をよく調べ、〈未来〉の可能性を探り当てるのが、その一つのしごとでしょう。一人きりの孤独な作業に見えますが、実は他者との複雑な関係がそこには必ず含まれています。

#### Q&A 先生ってどんな人？

お休みの日は何をしていますか？

音楽を聴いたり、映画を観たり、読書したり。結局、ふだんの研究や仕事と変わりありませんね。

どのような大学生活でしたか？

授業にはあまり出たことはありませんが、大学に出入りする雑多な人々から大きな刺激を受けました。

大阪産業大学キャンパスや大学周辺でおすすめのスポットは？

慈眼寺(野崎観音)。上方落語の有名な演目「野崎詣り」の舞台となったお寺です。落語好きの方はぜひ。

#### 先生の1枚



右側は映画『ブレードランナー 2049』で描かれた、環境破壊の進んだ空気の色です。左側は2020年撮影の現実の景色ですが、近未来SF映画のシーンと同じオレンジ色に染まっており、気候変動と向き合うことの重要性を示しています。

偏差値では測れない知性をみがくことが、生きるスキルを身につけることにつながると思います。そのためには、テレビからYouTubeまで、さまざまなメディアで伝えられる内容を批判的に読み解く力が必要です。かといって、安易な「陰謀論」に陥ってはなりません。自分が「ユーザー」として何に関わっているのか、何に奉仕させられているのかを見つめ直しながら、基本的な仕組みを分析する視点が大切です。

学生のみなさんへ  
ひとこと